

水稻品種「天のつぶ」は湛水直播栽培適応性がある

福島県農業総合センター 作物園芸部稲作科

1 部門名

水稻—水稻—水稻直播

2 担当者

新妻和敏、鈴木幸雄、佐久間祐樹

3 要旨

水稻品種「天のつぶ」は、茎数増加が緩慢であるため、直播栽培への適応性が懸念されていたが、苗立数 60 本/m²以上確保することで、精玄米重 60kg/a 以上の安定した収量を得ることができた(図 1)。

- (1) 苗立数は、ひとめぼれ並～優り、コシヒカリ並であった(表1)。
- (2) 本田での茎数はひとめぼれ、コシヒカリより少ないが、穂数はコシヒカリ並～多かった(表1)。
- (3) 稈長はひとめぼれより短く、倒伏は少なかった(表1)。
- (4) ひとめぼれ、コシヒカリより玄米重は多く、品質は並～優った(表1)。

表 1 直播栽培での苗立数、収量調査

試験地 ¹⁾	品種名	苗立数 ¹⁾ (本/m ²)	本田生育 ²⁾		出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	倒伏 ³⁾ (0-5)	玄米重 ⁴⁾ (kg/a)	千粒重 ⁴⁾ (g)	品質 ⁵⁾ (1-10)
			草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)								
郡山	天のつぶ	105	56	639	8/13	9/28	71	464	1.0	67.5	22.0	4.1
	ひとめぼれ	98	54	660	8/13	9/26	81	496	1.2	65.4	22.8	4.3
	コシヒカリ	103	56	717	8/20	10/4	91	434	2.0	61.3	21.6	5.7
会津坂下	天のつぶ	97	33	319	8/12	9/27	79	443	0.0	70.2	23.4	3.9
	ひとめぼれ	67	27	338	8/11	9/24	92	487	2.0	66.6	23.0	3.3
	コシヒカリ	89	31	381	8/18	10/2	100	450	3.5	64.6	22.7	4.8

- 1) 郡山が2002～2004年(奨決)および2013年、会津研が2002～2005年(奨決)の平均値。ただし、会津研の苗立数は2003、2005年の平均値。窒素施肥量(kg/a)は、基肥0.4+追肥0.2。ただし、2013年の天のつぶは基肥0.5+追肥0.2。
- 2) 本田生育の郡山は最高分け時期(7月上旬)の調査、会津研が播種40日後の調査結果。
- 3) 倒伏は奨決の平均値で0(倒伏無)～5(完全倒伏)の6段階評価。
- 4) 玄米重、千粒重は1.8mm篩い、水分15%調整。
- 5) 品質は検査機関による10段階評価(1:上上～9:下下、10:規格外)。

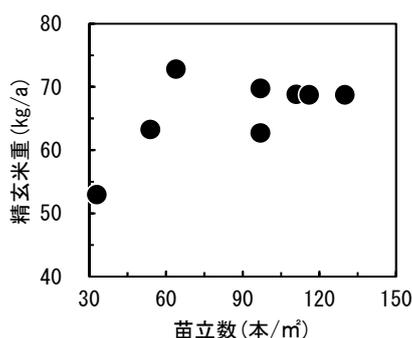


図 1 苗立数と精玄米重の関係

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成 24 年度～25 年度
- (2) 研究課題名 水稻有望系統における生育診断技術の確立
- (3) 参考となる成果の区分 (指導参考)

5 主な参考文献・資料

- (1) 平成 24 年～25 年度福島県農業総合センター試験成績概要